

西根・松尾地区中学校統合にかかる住民説明会

- 日時 令和7年6月23日(月) 西根中学校体育館 18時30分～19時18分
令和7年6月25日(水) 西根第一中学校体育館 18時30分～19時32分
令和7年6月26日(木) 松尾中学校体育館 18時30分～19時47分
- 参加者 西根中:15人 西根一中:19人 松尾中:36人
- 説明会資料 別紙のとおり
- 説明会での意見・質問等と主な回答

【西根中学校】

統合は、校舎が完成してからの統合となるのか。既存の校舎を利用して先に統合するのか。

回答等 候補地によっては開校まで8年かかる場所もある。仮にその候補地に決まったのであれば一旦既存中学校に集めたいと考えている。松尾中学校案、西根中学校案であれば4.5年で開校できる見込みであり完成をまっでの統合となる場合もあるものと考えている。

新たな校舎での開校の時期は示されているが、既存校舎を活用した統合の目処や目安などはあるのか。

回答等 現在検討中であるが、仮に西根中学校に決まったのであれば3年後に現在の校舎に子供たちを集めて統合校をスタートさせ、新校舎が出来たら移動することは考えられる。

西根中学校案は、現在のグラウンドに校舎を建てる案であるが、グラウンドはどうなるのか。

回答等 当初は、現在の校庭をできる限りそのままの残すように現在のテニスコート付近に校舎を建てる案であったが、これだけ広い校庭であれば現在の校舎をそのまま校庭に下げた校舎配置でも可能ではないかとも考えている。

お金はかかると思うが仮設校舎を建てて同じ場所に建てることは検討しないのか。

回答等 そのような考え方もあると思う。様々な建て方があると思うが、今後委託するコンサルからの提案を基本に検討していく。
以前仮設校舎も検討したが、工事期間2年間使うだけで5億円以上かかるとの試算であった。現在の西根中学校に集めて新たな生活をスタートさせ、校庭に新校舎を建てる流れのほうが、子供たちの学校生活が確保されるし、余分な予算をかけないですむことになるかと検討した経過である。

グラウンドが校舎から見えるほうが安心だと思った。

松尾中学校はあと何年使えるのか。新しく建てた校舎は何年使えるのか。

回答等 松尾中学校は、昭和63年頃の建設で、あと30年から40年程度使用可能である。新しく校舎を建てた場合は、メンテナンスを行いながら70年から80年程度使うことは可能である。

新しい校舎を建てる方がいいと思う。

市民センター西側は、農作業がしやすい場所でなくなると困る、候補地から外してほしい。

使わなくなった校舎の利用方法は考えているのか。

回答等 校舎の場所が決まったら、地域の方々の意見を聞きながら検討する。

【西根第一中学校】

クラス数は出生数を基に試算しているのか。

回答等 学校適正配置計画により、各候補地の開校予定年度に併せて試算している。

新たな場所に建てると3から4クラス、12年後には2クラスで済むようになる。どのような見通しで建てるのか。

回答等 実際に建てる場所が決定したら、将来の生徒数も勘案してクラス数を検討する。

建ててすぐに空き教室できる建て方であれば本末転倒なる可能性があるがどう考えているのか。

回答等 候補地の比較をするためには、12クラスを想定した計画としているが、実際に建てる場合には、将来の生徒数も勘案して計画しなければならないと考えている。

個人的には市民センター西側がいいと思う。

廃校になった場合の利活用はどのような考えか。

回答等 学校統合検討委員会に専門部会を設け様々な課題を協議することとしている。その中で廃校の利活用も検討して頂きたいと考えている。

西根中学校案がいいと思っている。

大更であれば塾、習いごとでもできるだろうし、大更コミセンもあるし、駅前に新たに交流複合施設もできると聞いている。徒歩圏内で子供たちが放課後有意義に過ごせると思う。

西根中学校案は、校庭に校舎を建てるとのことであるが、校庭はどれ位の広さなのか。

回答等 業者に委託し、どのような規模でどのような配置がいいのか提案して頂くことにしている。校庭に校舎を建てたとしてもサッカーコートは十分とれるものと考えている。体育の先生に確認してみたが、現在の校庭に校舎を建てたとしても、日常の体育の授業は十分にとけるとのことである。交流複合施設には新図書館も入ることになっている。9万冊という図書を予定している。中学生が帰りに読書や勉強をしたりする場所に活用して頂ければ、街のにぎわい創出にもつながるし中学生にとってもいい環境であると考えている。

現在の西根中学校に3校の生徒が入るのは難しいのか。

回答等 現在の西根中学校に3校の生徒を集めても十分な広さがあるので、学校生活は可能であるが、現在の校舎は60年経過し躯体そのものが弱くなってきており不安がある。安全な環境で学習させてあげたいという思いから、新築でとの考えである。

現在の校舎に先に3校の生徒を集めて、その間に建てるという考えはないのか。

回答等 現在の西根中学校に3年後を目途に一旦3校の生徒を集めて統合校をスタートさせて、その間に新校舎を建設し、建設が終わったら新校舎に移るという案も真剣に検討していく。

資料4の「自然災害に対する安全性」の中で岩手山火山泥流区域となっているところがある。噴火レベルがどの程度になったら避難体制などが必要となるのか。

回答等 この災害は、流雪型火山泥流となっており、積雪時に火砕流が発生した場合に雪が解けて火山泥流が流れる最大の到達場所を想定している。レベルとは関係なく、そのような状態になったら市の防災計画に基づき、避難等の対応をすることになる。

岩手山の火山噴火はいつ起こるか誰も想定できない。そもそも防災マップで火山泥流区域になっている場所に建てるべきではない。その点は考慮すべきである。統合になれば西根一中は、廃校になると思うが、地域防災計画では地域の避難所に指定されている。どのような対策を考えているのか。

回答等 体育館は避難所としての活用を考えていかなければならないと思う。西根一中は地域と一緒にやって防災対策に取り組んでいる。この場所を地域のために利活用できるよう努めて参りたい。

市民センター西側案は、開校まで8年もかかる。例えば西根中学校を仮校舎として活用することで統合を早くすることも検討してほしい。

【松尾中学校】

統合校を今の規模で建てた場合には、将来は生徒の数が減り空き教室ができて無駄になるのではないかと。松尾中学校は、増改築で対応できるのであれば優位性があるのではないかと考える。市では現時点でどの候補地が優位であると捉えているのか。

回答等 できる限り早く子供たちにいい環境を提供してほしいとの意見を多く頂いた。そのような意見を踏まえると松尾中学校、西根中学校に優位性がある。将来空き教室は無駄になるのではないかとのことであるが、今でも生徒は減っていて空き教室は、英語教室、第二図書館、少人数指導教室などとして学校ごとに必要とする教室として活用している。空き教室は無駄とは考えていない。

統合を急いでほしいとの意見が多い中で、統合まで8年もかかる候補地が入っているのは、なぜか。

回答等 候補地を選定するにあたっては、新しい場所も候補地とすることで検討を進めてきた経過であり、これまでの検討を踏まえ現時点で4候補地まで絞り込んだものである。

西根中学校案では、駐車場不足とか送迎が不便となっているが、もし西根中学校案に決まったらどのように改善するのか。

回答等 今の校舎を解体するまでの間は、駐車場不足が懸念されることから、比較結果等に「開校時には学校行事等の駐車場不足や生徒の送迎車両の不便が見込まれるが、開校後現校舎を解体することで送迎スペース等の確保は可能である。」と記載しているものである。
新しい校舎ができたなら現校舎は解体し、その場所に駐車場、テニスコートなどを整備したいと考えているので、そのようになれば十分な駐車場は確保できる。

解体までどれ位の期間がかかるのか。それまでの間心配される。

回答等 現在でも体育祭とかで多く人が集まる場合には、保護者の駐車場は旧西根病院とかプール脇のスペースを利用しているので、そのような利用をしながら進めていきたいと考えている。

プールは建設しないとのことであるが、どのような考えか。

回答等 プールは、現在の西根中学校プール、B&Gプールを利用することで試算したものである。